

インドネシア(ジャカルタ)の教育事情

日本では桜も開花し、入学・進学シーズンとなりました。インドネシアは6月が新学期になりますが、在インドネシアの日本人社会では、日本と同様、この時期に駐在員のご家族の転居が特に増えます。家族で駐在する方にとっての一番のご心配は安全と子供の教育環境ではないかと思えます。派遣する会社側もきちんと情報収集をして、インドネシアにあった福利厚生を備える必要があります。

インドネシアはジャカルタ、スラバヤ、バンドゥンに日本人学校があります。バリ島(サヌール)にはバリ日本語授業補習校があります。

ジャカルタ日本人学校は同校の維持会が運営する私立学校で、40数年の歴史があります。8ヘクタールの敷地に幼稚園・小学校・中学校が各2クラスあり、緑豊かな素晴らしい施設です。全校生徒は1,000人を超え、昨今の投資ブームで生徒が増えているそうです。



ジャカルタ日本人学校 幼稚園



ジャカルタ日本人学校 小・中学校

その活動は日本国政府が援助していて、教員は文部科学省から派遣されています。日本の教育関連法に沿って、日本の小中学校に相当する教育を行っていますが、カリキュラムにはインドネシア語の授業も組み込まれています。

学校はジャカルタ南部の BINTARO 地区にあります。その為、家族帯同で転勤される方は、ご本人の通勤よりお子様の通学を重視して、ジャカルタ南部に住まれる方が大半です。近年の渋滞悪化により、その地域から東部の工業団地エリアに通勤するのは大変になってきており、中にはジャカルタ市内で単身赴任されている方もいらっしゃるようです。



ジャカルタ日本人学校 広いグラウンド

日本人学校への通学は、ほとんどが自動車です。日本のように徒歩、自転車、電車などで通学している子はいません。ほとんどはスクールバスを利用しているようですが、オーナー契約バス（サービスアパート等で契約しているバス）や自家用車で送迎をしているケースもあります。渋滞を避けて通学せざるを得ませんので、家を出るのが早朝となり、お子様だけでなく、ご両親にとっても大変です。また、14時過ぎには下校のバスが出て帰宅となりますので生活スタイルは日本の学校とは大きく異なります。友達付き合いもバスの中での時間が貴重になっているようです。下校後に同級生の家に遊びに行くのも一苦労でちょっと可哀そうな気がします。

気になる費用ですが、私立学校ですので日本の公立小中学校のようにはいきません。通学の為のスクールバス代なども掛かる為、一般的には駐在員を派遣する会社が負担しているケースが多いようです。詳細は、ホームページでご確認ください。 →ジャカルタ日本人学校 <http://www.jjs.or.id/>

ジャカルタには幾つかのインターナショナルスクールもあります。ジャカルタには日本人だけでなく、ヨーロッパやオーストラリア、また他のアジア各国の方々もたくさん住んでいますので、子供達をそのような環境に置いて、日本ではなかなか体験出来ない国際感覚を身に付けさせようとする方も増えているようです。帰国後は帰国子女枠での入試が可能ではありますが、日本と比べてカリキュラムが違うことや、そもそも入学時に一定の英語力が必要であることが問題です。駐在員のご家族は数年後には日本に帰国されるので、一般的には日本人学校に通わせるようです。

また、日本と同じような学習塾や大手業者の通信教育も受講が可能です。個人塾や家庭教師もいますが、受験対策というより補修向きで、その情報はジャパクラブやロコミで集めるとよいでしょう。

以上

<これまでの岡山県インドネシアビジネスサポートデスクレポートは[こちら](#)から>

★岡山県インドネシアビジネスサポートデスク（PT. JC内）概要★

所在地：WISMA NUSANTARA BUILDING 24th Floor

Jl. M. H Thamrin Kav 59 Jakarta Pusat Indonesia 10350

デスク担当者：PT.JC 武井 和宏（たけい かずひろ）

対象エリア：インドネシア全域

※「岡山県インドネシアビジネスサポートデスク」では、岡山県内に事業所を有する企業や経済団体等のインドネシアでの事業展開を支援しています（岡山県から[公益社団法人 日本インドネシア経済協力事業協会](#)に業務を委託）。ご利用に当たっては、「[岡山県インドネシアビジネスサポートデスク](#)」利用の手引きをご覧ください。 [岡山県産業企画課マーケティング推進室](#)（電話 086-226-7365）までご相談ください。

※本レポートは岡山県内企業のインドネシアでの事業展開の一助とするため作成されたものであり、サポート対象に該当しない個別のお問い合わせには対応しておりません。